

ころふ

子供ころ 父の手紙を不エトレ

入れに行く

下をよく見ていないのか

よくころんだ

ひさこいりて ぎすし になる

やうと ながうてても 又ころふ

そんな ことがあつた

心筋梗塞 とらうのがぶる

一瞬の出来ごと

命をあとすことがぶる

同じ模範でも 氣をまをうしなうても

瀬戸帆であれば 命はなすかの

経験があるが 一平の エニゼツカ

をあげるようには 左おれて 氣をうしなう

ハルビシカ 和の母は よくころんだと云う

多分年いって 足元よろなで 危と思ふ

最近 ぎりたもうひとつ のころふは

足の作動停止 らしい

くらこスロくすわか 逆がはたろかあ

足かはらうかすわし

まぶつと川う樹に ころあし

それ方し 経験としん

年よりとあるらしい

あつといろ樹の虫来ごと

氣をアヤにくとす

急の足のはたう子の甲せか

いろあきさかあかうすあ

いろあきとやいとことすも

いろく ~~あ~~あ

2024
7/5